

【江の川河口 油流出事故の経過】

● 2月12日（土）

4：35 浜田市で最大瞬間風速35.3メートルを記録。（松江地方気象台発表）

9：15 江の川河口（江津市江津町）において、上流に係留していた船が流され、下流に係留していた船に衝突。流された船の船尾が沈んだ状態で横向きになり油が流出。

（ 事故発生時は風が強く波も高い状態であったため、油の回収には取りかかれな
い状況であった。当日は2次災害防止のため回収作業を行わず監視を継続した。 ）

● 2月13日（日）

10：00 風が治まったため、オイルフェンスの設置を開始。

11：50 オイルフェンスの設置を完了し、吸着マットにより油の回収作業を開始。

● 2月18日（金）

8：00頃から 衝突し沈没しかけている船の引き揚げを開始する予定。

船を引き揚げた後、新たな油の流出が見られなければ、オイルフェンスも撤去する予定。